

会議録：「令和1年度第2回恵那市産業振興ビジョン検討部会（工業部会）」

日時：令和1年10月18日（金）10：00～12：00

場所：恵那市役所会議棟大会議室

参加者：別紙参照

1. 開会

事務局：「6月に第1回恵那市産業振興会議、8月に第1回恵那市産業振興ビジョン検討部会を開催し、必要な取り組みを議論いただいた。議論の内容を踏まえ、今後実施していくべき事業をまとめた。これまでDMOとして取り組んできた事業を地域商社事業（DMO）として実施していく予定をしている。本日はそれらの事業について議論いただきたい。」

2. 報告事項

事務局：資料①により、これまでの経過とR2年度の主な取り組みについて、各部会の課題とR2年度の新規事業を説明。資料②により、全部会に関係する地域商社事業（DMO）を説明。

3. 検討事項

事務局：「ここからは各部会に分かれて進行する。担当職員が新規事業を中心に取り組み内容を説明するので、各事業の内容の議論をいただきたい。まず、資料①を詳しく説明する。その後、各事業の内容について、資料③を使って説明する。全ての説明を行ってから、意見をいただきたい。資料①により、これまでの課題と前回までの検討部会での主な意見、意見を踏まえ早速取り組んでいる内容について説明。さらにR2年度の事業構成を説明。

深く話をする必要のある市民が事業者を知る機会の創出について忌憚の無い意見をいただいて、来年度の取り組む事業に向けた意見として聞きたい。

高校生が市外へ流出してしまう。生徒や親にアンケートを取ると市内に働く場所がないと言われる。知ってもらうことが一番。今年度、小さいうちから地元企業を知ってもらおうと西中学校で企業説明会を実施し、山岡中学校でも実施する。来年度は全中学校へ企業が出向いて、生徒全員がブースに来られるような形を取っていく。西中学校だと6、7社くらいが出向いて2年生がブースを回って会社を分かってもらうことを始めた。意見があればいただきたい。

資料②-21参照。地元で企業説明会を行うことは当然のこととして、UIJターン対策として都市部で大学近くの店舗や大学の協力を得て大学内で企業紹介ブースを出したり、名古屋駅内で企業紹介コーナーを出展したりしてみた方が良いのか、地元でまずはしっかりと企業紹介をしていくのか、こういった方法が良いと思うか。

<主な意見>

《今後取り組むべき事業案について》

- ・地元はもちろんとしての話。先週、東京ビッグサイトでIoTなどの展示会があって、

恵那市が出展した。民間企業がターゲットなので行政には来ないと思っていたが、思っていた以上に人が来ていた。どういった人が来ていたか分からないが、ある程度、恵那市や岐阜県に興味がある方、縁がある方は都市部にもいると感じた。恵那から進学する子もいるので、我々が思っている以上に（都市部で企業説明会などを実施することは）効果が出るのではないかというのが率直な印象。確率論からすれば地元の方が、感触が高いのでしょうか、全くゼロではないのかという気がする。地元へ戻って来たいかどうかとマインドがあるのかは別問題。

- ・地域の人に事業者の魅力を知ってもらう中で、恵那高校での職業講和や西中学校での企業説明会などがあったが、どんな感じだったか。
- ・（事務局）恵那高校については、以前だと総務の担当者が行って「恵那市役所はこんな仕事をしている。戻ってきたらどうですか」という話をしていた。今回は企業の方に行ってもらい「私はこんな仕事をしています。こんな役職です。」という話をしてもらった。大学行って戻ってくるリターン化を恵那高校が支援してくれるという、今までの高校との関係とはかなり違っている。恵那高校の先生と話すのは、大学行って東京で就職するのと恵那に戻って親元で就職するのとでは、残るお金は一緒。もしかすると恵那の方が多いかも。東京で生活して、食事やアパート代などを払って残るのと、親元から通う時間とお金を考えると、恵那の方は給料が安くても、ゆとりある生活ができる。優秀な人材が戻ってきてくれることに学校側も動いてもらっているのはとても良いこと。中学校に関しては、地元こういった企業があって、働いて、通ってこんなことができるということを教えている。中学生は恵那が好きだ、岩村が好きだと郷土愛があるのでそこに訴えかけて、働いてもらえるように今、始めたところです。学校の先生は今まで企業に直接連絡することはハードルが高いと感じていたので、その連絡を商工課が全部やると話をした。インターンシップで体験してきた子が就職してくれたと聞くこともある。地道な活動であるが知らないより知った方が良いと考える。
- ・学校側の協力が必要。地道にやっていくしかないかなという感じがする。これといった速効策があるかと聞かれても難しいのではないか
- ・11月に恵那高校で講話を依頼されている。就職する生徒はほとんどいないが、将来どういったことをやっていくのか、大学進学を選択肢の一つにしたいということだった。建設業には土木など27業種と深く関わりがあることを説明し、進路の決め手となることと、地元こんな企業があるのだとか、身近にある建物、特に高校生が利用する建物を地元の業者が作ったと分かるような説明や、建設業界で就職するにはどのような進路を進んだら良いかといった説明をして欲しいと頼まれた。
- ・（事務局）進学だけを教えるのではなく、郷土愛があるうちに地元企業を知ってもらい、例えば土木関係や機械関係にはどういった大学へ進むのか、職業につながる勉強を先生も一緒に中学生くらいから行えるといいと考える。高校はもっと専門性が出てくる。どういった方法がいいのか模索していて、中部大学でブースが出せないかとか、名古屋の街中で恵那市だけでやって人が来るのかなど色々考えている。
- ・CMでも聞く大手の就職イベントの出展料が、1ブース30万円と聞いて出展してみたが全然人は来なかった。行政でやってもらえればそれは効果があると思う。民間がやることと行政がやることでは大分違う可能性があるかもしれない。
- ・（事務局）行政がやる時は皆さんと一緒にやっていく。例えば中部大学でブースを出せるのなら皆さんに声をかけて、行ける事業者で参加することはできると考える。

- ・自分は中部大学を卒業しているが、OB や OG が縁で就職もある。
- ・(商工課) 行くのは商工課で行く。何か動かなければと思っている。今のままでは人手不足のまま。
- ・大卒の採用は厳しい。どこに流れているのかと思う。
- ・(事務局) 高校でも厳しいので、名古屋周辺の企業に行っているのでは。
- ・高校だと就職活動まで1年しかない。中学生に企業説明をして仕事を知ってもらい、一緒に携わりましょうということから出していくと良いと思う。
- ・(事務局) 西中学校では1教室1企業、8~10人のグループになり、交替でグループ討議してもらった。印象に残るし、子どもたちの話題になることが良いと思う。高校生になって、インターンシップで来てくれれば送迎はするなどの困り込みができれば良い。来年は全中学校でやる。西中学校なら明智の工業団地や岩村からも企業に来てもらう。逆に明智にも恵那の工業団地から行くこともある。商工を通してなら福祉分野の企業も参加してもらうこともできる。色々な形で参加できるようにしたい。
- ・西中学校に子どもが通っている。職業体験3日間の今日が最終日になる。2週間前に北中学校の職業体験で会社に初めて女の子が来た。土木業に何で来たか聞いたら、元社員の娘さんだった。勉強が嫌いで土木に興味があったとのこと。土木業に来る子は勉強よりも砂を掘っていた方が面白いということが多い。確かに勉強、勉強と評価されるが色々な選択肢があるし、土木業の仕事が楽しいという子もいる。自分のときは職業体験がなかった。非常に良い試みだと思う。毎年こういったことを続けていくことが大事なことだと思う。仕事で太陽光発電をやっている関係で、理科の授業を1時間やって欲しいと個人的に頼まれたこともあった。仕事以外で子どもたちに触れ合い、仕事の話ができて、子どもたちも普段と違う環境で話が聞けたのは良いと思う。先程話があった建設業組合の青年部で測量の出前授業をやっている。これも普段とは違う授業なので良いと思う。
- ・(事務局) 事業者を知る機会をつくることは難しいが地道にやっていく。小学校の5~6年生の社会見学をトヨタ自動車ではなく、市内企業2~3箇所を周ってもらい、市内企業を知ってもらい中学校で講話を聴くと、また違う形になるのかとも考えている。子どもたちに印象に残るようにしたい。昔は地元で就職して、長男は残るものだと引き継がれてきたが、今は出て行くことが当たり前となっているのでその辺りも見直しが必要かもしれない。
- ・女性の活躍について、市役所も最近、土木関係は女性職員が多いが意識的に採用しているのか。
- ・(事務局) 土嚢作りや災害復旧現場では肉体的な労働で男性が必要だが、普段なら女性でも設計もできるし、測量もできるので採用試験を行うと女性の方が優秀。だから女性を採用するが、最近男性が来ない。女性の方が幅広く活躍しているように思う。女性は活躍しているか。
- ・事務で入社したが、フォークリフトの免許を取得するとか、総務の仕事以外にも積極的に加わっている。建築業では家庭に入って話を聞くときはやはり女性の方が良いので確保したいと思う。女性は発言も積極的で、男性は引っ込み思案だったりする。
- ・(事務局) 製造業はどうか。
- ・最近、プログラマーや検査係は女性が増えている。
- ・ワークが小さいので男性が優位とは考えていない。パソコンを動かして機械を計るといった仕事。自社に関しては、女性の方が生産管理や接客、社内調整も際立っている

ので活躍してもらっている。色々な所で専門知識が必要となるので、結婚・出産で退職するのはさみしい。採用は子育てが終わった 40 代後半が望ましい。逆に結婚・出産する女性が戻って来られるような仕組みや会社の業務を標準化することも考えていかなければならない。そうすれば女性が活躍する場がさらに増えて、企業としては力強い。

- ・ほとんど共働きの時代。
- ・（事務局）市役所も臨時雇用で 8 時半から 17 時まで募集をするとだいたい応募がない。9 時～16 時で募集すると保育園の送迎ができるので働きたい人が増える。優秀な方が多い。時間をフルタイムにして良い人が来るとは限らない。女性の働くニーズがどんどん増えているのは、どこも一緒。市役所も試験をすると女性の方が優秀。
- ・働き方改革で残業が制限されると、働きたくても働けない。2～3 時間やれば仕事が終わるのに帰れとなる。持ち帰って仕事することになったりして、最近反発が多い。定時で帰ると収入が減り、普段の生活ができなくなる。単純に残業するのではなく、違う解決策がないかと思う。
- ・生活の中で、残業代を考えては困る。
- ・求人でも残業代込みでこれだけとしているのだが残業代込みの生活になっている。国の政策だからといってそれでは困る。
- ・（事務局）ブラックな働き方をしているから規制が出た。市役所でもノー残業デーを多く設定した。仕事ができないなど批判も多かった。
- ・（事務局）次にある人材育成だが、今年市役所は JAL から職員を派遣してもらっている。今年度中に JAL のキャビンアテンダントを呼んで、接遇研修を考えている。研修を受けて企業に戻ったときに、自分たちにできることは何かを考ええもらえたら良いと思っている。もっと雇用対策協議会でやってほしい研修など要望があれば言ってほしい。
- ・新入社員に学生とは違うということを教えてほしい。どんな職業もお客様あつてのもの。自分のマナー教育、電話対応、接客の仕方など、最初に教えておかないと、後からではダメ。
- ・社内での教育は大変。
- ・（事務局）市役所では多くの研修を行っている。問題が起きるとその問題に対して全職員に研修をして対応させる。新人から先輩になる世代の研修や、管理職などそれぞれの世代に合わせた研修を行い、育てている。
- ・監督署の所長の話で、今は鬱やパワハラといった問題で駆け込んでくる。企業としては自社を守るためにも、研修会や勉強会をしているとかがないと監督署としても企業のマイナスとなってしまおうと言われた。
- ・（事務局）ハラスメント研修は市役所でも行っている。
- ・残念ながら今まで研修を行ったことがない。
- ・（事務局）特に管理職へやっている。ハラスメントになるから指導しなくなる。ハラスメントは受け取る側の感じ方による。人材育成で必要なら研修会を開催する。参加費を例えば 1 人 500 円もらってやるのも良い。それが雇用につながっていけばいい。
- ・ベテラン連中は叱られながらやってきている。若い子たちにできるかとなると難しい。では、どういう対応したら良いのかとなる。
- ・（事務局）ハラスメント研修を行うことにより、辞める子は減ると思う。
- ・定着につながる。

- ・（事務局）人材定着の部分で事業として付け加える。24 番の中で、企業の指導者側の研修会で、ハラスメントなどの研修会を検討して実施する。
- ・（事務局）最後に企業立地です。企業を誘致すると人材を取られるということもあるが、魅力ある市を作るということもある。
- ・住友リコーの誘致は決まりか。
- ・（事務局）ほぼ決まり。試験コースを作る。瑞浪恵那道路ができるので、その周辺を工業団地化したいと思っている。これまで市内企業が出て行くのを防いでいなかった。例えばバローも本社が多治見に行ってしまった。出て行かないよう、守ることをしていく必要がある。舟山の土地を売り出すのだが、市内企業に優先的に募集したい。無ければ住宅地でも良い。第二小学校の横でも売り出すが、そこは住宅地が良いと考えている。地元の企業が入れることをしたいと考えている。地元の企業が定着するには何が必要か考えていく。アイシン AW が来て人が取られるという話もあったが、瑞浪市からすると空いていた工場跡地がどんどん埋まって、従業員も増えたとも聞いている。新しいアパートも建って、すごく好転した点もあり、取り合いの部分もあるが良い企業が来ることも考えていけないといけないと思っている。それには広い土地を確保することも必要。企業誘致には色々な意見がある。
- ・大手が箱を持ってくるのなら、箱に入れる人もどこからか持って来てもらわないといけない。端的に言えば人口が増えるのが理想だが、なかなかそうは行かないので難しい。
- ・仕事は増えるので良い。色々な波及はあるのでありがたい。
- ・市の発展では大賛成。
- ・（事務局）企業誘致はずっと続けて、誘致できる土地を確保し続けていかなければならないと思う。テクノパークに三菱電機ができて以来何もしてないので、どこかで開発して、絶えず地元企業の立地も併せて土地開発をしていかなければならないと思う。リニアが開通すると立地したい企業もあると思う。人の問題もあるが、住宅を作れという話もあったが、区画整理のところに 60 区画強の住宅が建つ。結構売れているとも聞いている。その他にも増えてくると思う。
- ・（事務局）市内企業を回りながら、市外企業も訪問していく予定。なかなか恵那市は厳しいが、防災面からも立地を考えるという話もある。
- ・（事務局）他に要望はあるか。関連企業、取引先が恵那に来た場合は宿泊をするか。
- ・自社の場合は泊まらない。
- ・そういう意味ではアクセスが良いとも取れる。
- ・（事務局）ポート・カヌーや WRC もあって、宿泊先が少ないとも聞いている。
- ・食べる場所も少ない。
- ・（事務局）ものづくりの振興、集客産業の振興、経営基盤の強化など他に何か意見はないか。ジェットロが恵那に来て、海外展開の手伝いをしている。工業より商業的ではあるが海外展開に興味があれば。IoT もモデル事業を募集しているのでぜひ参加を。外国人労働者で困っていることはないか。
- ・会社と住居が遠い。名古屋の工場でミャンマーの人が働いていて、すぐそばに住んでいる。都市部だからできるのかもしれないが。車は運転できず、自転車のみとなる。会社に住ませるのも良いかと思う。恵那ならではの、地方ならではの問題だと思う。
- ・（事務局）市全体では、商工だとか産業分野だけではなく地域としてそれぞれで考える必要がある。市全体の中で外国人労働者対応を考えてもらうように企画課には話し

ている。外国人問題は色々な国から来ているので難しい。

- ・例えば、他の事業所で助成をしているとか何かあるか。外国人労働者を増やすための助成はあるか。
- ・（事務局）美濃加茂や可児でないか調べてみる。また意見があれば教えてほしい。来年に向けて事業化していく。

4. 次回検討部会

事務局：「次回は2月に開催予定」

5. 閉会

■まとめ

<人材確保対策について（域外）>

- 都市部にも恵那市や岐阜県に縁がある人や興味がある人がいるので、都市部で企業説明会などを実施すると効果があるかもしれない。
- 大手企業の就職イベントに参加したが効果はなかった。行政でまとめて参加すると効果があるかもしれない。

<人材確保対策について（学生）>

- 大学進学してもUターンしてもらえよう高校も取り組んでいる。
- 郷土愛がある中学生のうちから地元で働いてもらえよう取り組んでいくことが重要。
- 学校の先生は企業に直接連絡することにハードルがあると感じている。
- 速攻策は難しいが、学校側にも協力してもらい地道に取り組んでいく必要がある。
- 職業講話では、普段利用する建物は地元の業者が造ったことや建設業で就職するための進路などの説明をした。職業につながる勉強を先生と生徒が一緒に行えるといい。
- 高校だと就職活動まで1年しかない。中学生に企業説明をして仕事を知ってもらうことが重要。
- 来年は全中学校で企業説明会の実施を予定している。
- 職業体験は非常に良い試み。毎年続けていくことが重要。
- 授業で話すことを依頼されたが、仕事以外で子どもたちと触れ合い、仕事の話ができ、子どもたちも普段と違う環境で話が聞けたのは良い機会だった。

<人材確保対策について（女性）>

- 自社では女性の方が生産管理や接客、社内整理も際立っている。
- プログラマーや検査係は女性が増えている。
- 女性の採用は子育てが終わった40代後半が望ましい。
- 結婚・出産する女性が復帰できる仕組みづくりや会社の業務を標準化することも必要。

<外国人労働者について>

- 会社と住居が遠い。地方ならではの問題にどう対応するか。
- 外国人労働者や住宅問題については、産業だけでなく市全体のまちづくりで考えていく。

<働き方改革への対応について>

- 働き方改革で残業が制限されると仕事ができなくなり反発も多い。残業以外の解決策が必要。
- 新入社員を対象に、マナー、電話対応、接客など学生とは違うことを教えてほしい。
- 会社としても研修会や勉強会をしないとマイナス評価になってしまう。
- 労働基準監督署には、うつ病やハラスメント問題で相談に来る人が多いとのこと。定着のためハラスメント研修も必要。

<企業誘致について>

- 誘致企業は社員も一緒に持ってきてもらえるといい。
- 企業が来れば仕事が増えるのでいい。
- 取引先などが来るときは宿泊しない。アクセスが良いということ。